

## 平成27年度オープンラボ（一般公開）について

毎年恒例の一般公開「オープンラボ」を、7月18日（土）に開催し、昨年を越える236名の来館者で賑わいました。今回もたくさんのご来場、ありがとうございました。



年に1度の一般公開！  
国立水俣病総合研究センター  
一般公開のご案内

平成27年7月18日（土）  
10:00～16:00（受付：15:00まで）  
場所：国立水俣病総合研究センター  
—入場無料—

国水研は、地域のみなさまとかかわりながら、水俣病や水銀に関するさまざまな研究・調査を行い、水俣だけでなく日本や世界へと情報・技術を提供する研究センターです。  
当日は、いろんなコーナー盛りだくさん！  
みなさまのご来場をたのしみにしています！

◆ストレスチェックしてみませんか？  
◆ものづくりでリハビリ体験  
◆水銀ゼロの乾電池をつくってみよう！  
◆みなさまの水俣病  
～海の生き物おもしろ実験

◆わた菓子をつくって物質の変化を学ぼう！  
◆手作り顕微鏡でミクロの世界をのぞいてみよう  
◆毛髪水銀測定～かみの毛の水銀はかります  
◆色と光の三原色  
～絵の具やLEDの光を混ぜて楽しもう！

環境省 国立水俣病総合研究センター  
〒867-0008 熊本県水俣市浜4058-18  
TEL 0966-63-3111 FAX 0966-61-1145 URL <http://www.nimd.go.jp>

▲案内ポスター。  
駅やコンビニなど人目に触れやすい掲示すると共に、プリントを学校や公民館などで配布しました。

研究室単位で実施した企画は例年どおりのものから新規のものまで、科学イベントとして子供達の自由研究のヒントになる物や家族みんなで楽しめる物など盛りだくさんの内容でした。

各企画の様子を写真と共に簡単に紹介します。

「ストレスチェックしてみませんか？」では、だ液アミラーゼを測定しストレスの状態をチェックします。アロマを嗅いだ前後を比べ、ストレスの軽減を調べました。臭いによって、効果に違いが有ることを実感されていました。



▲ストレスチェック、風船に癒されますね。



▲ストレスチェックしてみませんか？のアロマ体験の様子です。

「色と光の三原色絵の具や LED の光を混ぜて楽しもう！」では、絵の具を混ぜた場合と LED の光を混ぜた場合の違いを体験しました。印刷物を拡大したり、三角プリズムで光を分けたりと色の不思議を実感できた、楽しかったとの感想がありました。



▲色と光の三原色、印刷物を拡大しています。



▲光を混ぜたら、どうなったかな？

「わた菓子をつくって物質の変化を学ぼう！」では、わた菓子作りを体験しながら、物質の三態（気体、液体、固体）について、学んで頂きました。縁日などで目にする機会の多いわた菓子についての科学的説明は、小学生高学年になると興味津々な様子でした。



▲わた菓子コーナーの様子です



▲わた菓子はちびっこに大人気

「ものづくりでリハビリ体験」は例年人気の企画で、今年は革のしおり作りとミサンガ、カラーゴムブレスレット作りでした。順番待ちが出る盛況でした。子どもも大人も夢中になって、制作に没頭していました。



▲「ものづくりでリハビリ体験」にみんな夢中！



▲友達とミサンガ作り

「かみの毛の水銀をはかってみよう！」は国水研の定番企画です。所内だけでは無く、外部のイベント時に出張企画としてかみの毛の水銀分析を行っています。今回測定した人からは、自分の値がどこに位置するのか結果判定はドキドキしたとの意見がありました。



▲髪の毛を採取する様子



▲髪の毛の重さを量って、水銀を測ります。

「水銀ゼロの乾電池をつくってみよう」では、水銀フリー社会の実現への取り組みについて紹介するため、一般社団法人電池工業会の協力で、手作り感電池教室を行いました。できあがった乾電池には国水研オリジナルのくまモンラベルを貼りました。



▲乾電池と水銀について勉強です。

「手作り顕微鏡でミクロの世界をのぞいてみよう」では、顕微鏡制作キットとペットボトルで顕微鏡を手作りし、いろんなものを拡大して見ました。自分で作った顕微鏡で見るとさらに楽しくなるようですね。自由研究で使ってくれたかな。



▲ペットボトルを使った顕微鏡ってどんなのかな？



▲乾電池制作の様子です。後ろにオリジナルくまモンが見えます。



▲手作り顕微鏡でどんなものを見ようかな？

「みなまた水族館～海の生き物のおもしろ実験～」では、「タッチプール」と「海の生き物の餌の食べ方」に注目した実験の2本立てとしました。ちびっこはタッチプールに夢中で、特にナマコが大人気でした。ろ過食の生き物が海水をきれいにする実験、肉食の貝類が餌に集まる実験は子供より大人が熱心に見入っていました。



▲タッチプールの生き物について質問する子供たち

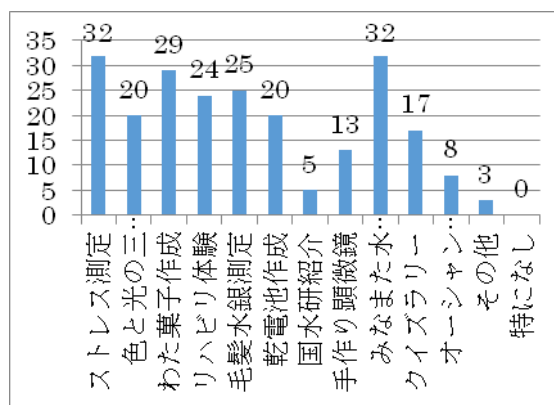


▲餌に集まる貝類の実験、真剣に見ています。

また、企画以外でも、カレー、パン、かき氷、ジュースなどの食品コーナーも盛況でした。

前年度の要望で、来場された方が休める場所を作るため、椅子を多数配置した点は、好評でした。

アンケートでは、すべての企画に対し良い評価をいただきました。初めて参加された方が約半数で、残りの方は複数回の参加でした。国水研が何をやっているのか初めて判った、毎年楽しみにしている、などのお言葉もいただきました。



▲アンケート結果、参加して良かった企画。アンケート回収66枚、複数回答可として228件の集計結果。

地域の方々に国水研を知っていただく貴重な機会であるため、今後もたくさんの方々が「何度来ても楽しめる」企画を工夫して、皆さんをお迎えしたいと思います。